



学校保健通信

2016.10.7
No.478

9月10日(土)、かでの2・7にて第48回全道養護教諭研究集会が行われました。

先日の台風被害の影響で交通網がままならない中、高校のみならず小・中学校、特別支援学校の養護教諭20数名が集まり、研究集会を行うことができました。午前はスポーツ歯科医からの講演、午後は学習交流会として二つのテーマに分かれて話し合いを深めたので、内容の一部を紹介いたします。

第48回全道養護教諭研究集会 子どもたちの健康保障を目指して ～健やかな子どもの発達を守りたい～

講演

「一生使える歯とからだを育てる～スポーツ歯科医の視点から～」

札幌森歯科医院 院長 森 修二 氏

森 修二先生は日本スポーツ歯科医学会認定医として、日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学)をはじめ、日本体育協会公認スポーツデンティストなど多くの役職を精力的にこなされている数少ないスポーツ歯科医の先生です。今回はたくさんのスライド資料を用意してくださり、多くの質問に答えていただきました。

1. 歯・あごのケガと対応

- ・スポーツ振興センターの給付請求の中で、歯又は口腔の事故はバスケットボールによるものが一番多く(H24 データ)、サッカーなども多い。ラグビーはマウスガード(マウスピース)が義務化なので歯に関するケガは意外と少ない。
- ・スポーツ外傷は早期対応が重要になってくる。落ちた歯は新鮮な牛乳パックに入れてできるだけ早く歯科医院に連れて行く(保存液より牛乳が理想)。

2. マウスガード(マウスピース)について

- ・マウスガードでの衝撃吸収により、効果が認められている。野球などでも成績が変わる。市販の物は自分の歯に合わないので、必ずオーダーで作る。
- ・マウスガードをしたことによってパフォーマンスが落ちていないか、指導者と歯科医との連

携が大切。

3. スポーツに影響する歯の病気

- ・歯科検診が重要。レントゲンをかけなければ見えてこないものもある。
- ・アスリートは、海外遠征での飛行機移動による気圧の変化、疲労などにより、歯根のう胞などが急に痛むため、前もって摘出等処置しておく。歯の先天性欠如や過剰歯なども口腔外科で処置する。

4. スポーツにおける“噛みしめ効果”

- ・首回りの筋肉がしっかりしていないと、スポーツで重要な頭の位置が安定しない。歯が良くないと、くいしばりの効果がない。

最後に、まとめとして森先生は、「スポーツを歯科的に研究し、明らかにできたことを子ども達、選手達に伝えることは本当に楽しいことです。そして、そのことで結果を出せるようになれば、さらに嬉しいことです。」とおっしゃっていました。森先生お忙しい中、ありがとうございました。m(_)_m



①子どもの心とからだについて
②運動器検診について

学習交流会



午後からは二つのグループに約半々に分かれて、学習交流会を行いました。

①<子どもの心とからだについて>

- ・保健室に来室する子の中で、小学校でも勉強についていけない子の増加がみられる。子ども達が大きな不安や、自信のなさを抱えて、生きづらさが垣間見えている。
- ・小学校で話の聞けない子、そのままの状態中学校に上がってくるため、学力低下を招く。子どもの数は相対的に少なくなっていて、手厚く関わられるようになっているのに…大人も子どもも心を繋ぐ教育がなく、学校全体のゆとりのなさが反映されている。

②<運動器検診について～実際に行ってみて>

- ・内科医が専門外だから「できない」と断っている。要求に入れるとしたら、専門医をつける予算付けが必要。
- ・問診票から何をくみ上げていくのか、結果の出し方など課題を共有することができた。

※まだまだいっぱい話は出てました。また、平成30年度からの高校における「通級指導」も資料とともに話題になりました。

旭川・富良野支部

9/22
in 旭川

秋晴れの9月22日、旭川の「旬鮮かぐら」でブロック集会を8名で行いました。部長会議や養護教諭全道集会の内容や運動器検診、各学校の保健室や職場の様子など、1日30食限定のランチを堪能しながら交流を深めました。

平均年齢も上がってきて、以前はあまり聞かれなかった親の介護や体調の変化なども話題になってきました。組合員の脱退や退職が続き、人数が少なくなりましたが、皆で集まって話すことの大切さを実感しました。

今回は3月に旭川北高校を早期退職した鈴木裕子先生も参加して下さい、保健室で活用できるたくさんの書籍をプレゼントして下さいました。養護教諭という職種を離れても、いろいろ勉強をされている鈴木先生からも元気の素をもらって、気持ちの良い時間を過ごすことができたブロック集会でした。

(上富良野高校 松本晶子)



ブロック集会報告

南北空知支部

同じく9/22
in 滝川

9月22日秋晴れのさわやかな空の下、今年度は北空知地区が担当ため、滝川市内にある「La Pecora (ラ・ペコラ)」で行いました。参加者は5名と少なめだったのですが、6月に行われた部長会議や、9月に行われた全道研究集会での話などをパスタランチやピザランチなどを堪能しつつ、情報交流を行いました。



また、耳鼻科・眼科検診の扱いや10月に予定されている研究会の案内、“血めぐり”“デトックス”の話題など、多岐にわたって話題が尽きることはありませんでした。ちなみに“血めぐり”とは“血液循環+新陳代謝”の総称で、ストレスや食生活、運動不足や薄着などが原因で悪くなり、“血めぐり”が悪くなると、冷えや疲れなどの不調を招くそうです。

ゆっくりと久々に顔を付き合わせて一人職種ならではの話を共有し、ブロック集会として有意義な時間を過ごすことができました。

(滝川工業高校 佐藤恵美)

